

## 第11回全国銀行大会における総裁講演要旨

本日第11回全国銀行大会の開催せられるに当りまして、最近の金融経済に関し、いささか所見を申し述べる機会を得ましたことは、私の最も欣快とするところであります。

わが国経済が近來著しい発展を遂げ、世界の注目を受けるに至っておりますことはご承知の通りであります。およそ経済が発展し、雇用が増大し、生活水準の向上を見ることが経済政策全般の究極の目標であることは申し上げるまでもありません。しかしながらこのような発展は、一国経済の実力に即応すべきものであり、特にわが国のごとく貿易依存度の高い経済におきましては、輸出の伸長に歩調を合せて参ることが最も肝要でありまして、もしこの範囲をこえますならば、国際収支の悪化をきたし、かえつて経済の発展をそこなう結果ともなるのであります。経済を健全かつ持続的に発展させてゆくためには、何としましても国際収支の均衡を確保し、通貨価値の安定を堅持して参らねばならないのでありまして、これを換言すれば、輸出の増進と貯蓄の増強こそその基本とせらるべきであります。これらの目的を達成するためには、弾力的な通貨金融政策の運営にまつところが大きいのはもとよりであります。それはまた全金融機関の理解と協力によつて初めて成果を挙げうるものでありまして、このことは最近の欧米諸国における経験に倣しても明らかとなっております。

ひるがえつてわが国経済の現状を見ますに、私は真に重大なる時期に際会していると考えざるをえないのでありまして、金融界を代表せられる各位と共に、この際覚悟を新たにし、相携えてこの事態に対処して行かねばならぬと存するのであります。

### 〔当面の経済動向と公定歩合の引上げ〕

ご承知のごとくわが国経済は、一昨年来まことに目覚しい発展をたどつて参つたのであります。昨年の半ば以降は、好況の中にも樂觀を許さない種々の現象が生ずるに至つたのであります。最も注目されますのは投資、なかんづく産業設備投資を中心といたしまして、国内需要が著しく増大してきたことであります。今更申し上げるまでもなく、設備投資は経済発展の原動力であり、将来の国際競争力を培うためにも必要欠くべからざるものであります。しかしながらそれは資本の蓄積、貯蓄の増大を基礎として進めらるべきものであり、日本銀行の貸出によつてまかなわらるべきものでないことはいふまでもありません。最近の状況を見ますと、このような投資の行き過ぎが次第に目立つて参り、それに伴つて国際収支は大幅の赤字を続けております。わが国のような資源に乏しい国においては、外貨の食いつぶしをきたさぬように十分に配慮をいたさなければならぬことは申すまでもありません。

去る3月20日公定歩合の1厘引上げに引きつづき、5月8日更に公定歩合を2厘引上げることによつて金融引締めを一段と強化し、あわせて市中の預金貸出金利につき臨時金利調整法上の最高限度を改正いたしましたのも、これによつて国際収支悪化の原因たる投資の行き過ぎが、すみやかに是正されることを期待したからであります。

もとより今回の引締めは、経済の健全な発展を持続しうる基盤を確立することが主眼でありまして、これに伴う摩擦を小範囲にとどめるためにも、引締めの効果ができる限り早く現われることが望ましいのであります。内外経済の動向は決して安易な見方を許さないものがあります。国際収支

の改善には、輸入の抑制とともに輸出の促進が必要であります。ここ2、3年来未曾有の繁栄を続けて参つた海外経済は、欧米諸国の投資一巡を中心といたしまして、昨年来景気上昇にかなりの鈍化傾向がみられるのであります。このことは今後各国との輸出競争が、一段と激化することを予想せしめるものであります。更に米国の輸入制限その他欧州共同市場結成への動きなども、わが国輸出の将来を考える場合に見のがしてはならぬことであります。一方国内におきましても、設備投資は当面拡張の要請が強いあい路産業や新産業部門が中心でありますだけに、かなり根強いものがあり、更に所得水準の上昇に伴いまして、一般の消費も漸次増大の傾向をたどつておりますので、輸入増大の源である内需の増勢を抑えて参ることは決して容易ではないのであります。

#### 〔金融引締めの基本方向〕

以上のような情勢を考慮いたしますと、今回の措置が所期の効果を収めるためには、経済界をはじめ各方面の非常な努力を要すると思つております。もとより金融政策だけでは、必ずしも万全を期しえないのでありまして、さらに財政、産業、その他の政策面においても総合的な施策の実施が適時適切に行われることを期待いたしますのであります。また産業界に対しても、この際国際収支の積極的改善のため輸出の増大にあらゆる努力を傾注されると共に、自発的に投資計画を再検討し、実状に即しその縮小あるいは繰延べを考慮せられることを強く希望する次第であります。

しかしながら、いずれにいたしましても、金融の引締めが当面の施策の中心となるべきことは申すまでもありません。公定歩合の引上げに引続き、すでに輸入金融面における引締め措置が相次いで実施されたのであります。今後の事態の推移いかんによりましては、金融面においても更に必要な手段を講じて参りたいと存じます。

そもそも金融政策を効果的に遂行して参るには、それが金融正常化の線に沿つて進められねばならないのでありまして、先般公定歩合の引上げに際し、市中金利の変動を通じ企業の資金需要が抑制されることを期待いたしましたのも、この趣旨に出たものに外なりません。もとより金利体系の正常化にはなお残された問題が少なくないのであります。これにつきましては今後の事態の推移に応じ、逐次解決して参りたいと考えております。

また、このほど懸案の準備預金制度が実現の運びとなりましたことは、金融調節手段の整備強化を進めて参ります上から誠に喜ばしいことと存じておりますが、その実施につきましては、金融の情勢に応じ、真に有効適切な運営を期したいと考えております。なおそれにつきましても、日本銀行に対する預け金の増加については、各銀行とも今後一段と努力せられたいと存じます。

#### 〔銀行に対する要望事項〕

次にこの機会におきまして、銀行の各位に対し、若干の希望を申し述べておきたいと思つております。

私は、金融機関は国民経済運営上そのかなめとも申すべき立場に立つものであり、それだけに金融機関の公共的な使命はきわめて重大であると思つてありまして、いわゆる金融機関の自主性も、そのような公共的使命を自覚実践することによつて初めて確保しうるものといわねばなりません。その使命達成のために金融機関としては、いたずらなる競争を避け、国内業務はもちろん外国為替業務についても、相携えて協調の実を挙げられることを要望いたしますのであります。私は、このようにして金融機関が公共的な立場からその自主性を発揮されることが、国民経済の円滑かつ効率的な運営を期する上に最も適切な方法と信ずるのであります。

このような見地から今回の金融引締めに関連し、第1に要望いたしますことは、この際銀行貸出の

抑制に格段の努力を払われたということであり  
ます。健全金融の基調は日本銀行依存を脱却する  
ことによつて初めて確立されるのであります。ひ  
ところ著しく改善されたオーバーローンが、わず  
か1年を経ずして再現いたしましたことには、種々理  
由があるにいたしましても、その一半は過当競争  
などの結果、銀行の健全な貸出態度が必ずしも守  
られなかつたことにあると思うのであります。ま  
た最近の投資の行き過ぎが、銀行貸出によつて促  
進されたこともいなみ難い事実であります。これ  
を根本的に是正いたしますには、健全な貸出態度  
を確立することが先決問題でありまして、銀行と  
しましてはいたずらに規模の大を競わず、内容の  
充実、健全化に努めることこそ肝要なのでありま  
す。私は引締め政策の成否も、一にこの点のいか  
んにかかっているとさえ思うのであります。

しかし金融引締めの目標は、いたずらに経済の  
萎縮を招くことにあるのではなく、健全な経済発  
展の基盤を培うことにあるのはいうまでもありま  
せん。このためには、限られた資金が国民経済的  
に最も有効に活用されねばならないのでありまし  
て、たとえば現下最も緊要とされます輸出振興に  
必要な資金の供給については、万全を期してい  
ただきたいと存じます。また重要産業資金の供給  
にも若干の不足が見込まれます折から、いわゆる不  
急部門への資金流出は、これを絶対に抑制する  
との強い態度で臨んでいただきたいのであります。  
これらに関する判断は、あげて金融機関に委ねら  
れていると申しても過言ではないのでありまして、  
この際においてこそ金融機関の良識ある自主性の  
発揮が期待されるのであります。これを促進し  
て参ります上からも、全国銀行協会における自主  
規制委員会や投融资委員会の機能を極力活用され  
るよう望むものであります。

また金融の引締め過程におきましては、とかく  
そのしわが中小企業に寄せられる傾向がありますが、健全な中小企業が、金融面からその発展を阻

害されるがごときことがあつてはならないのであ  
りまして、中小企業金融につきましましては格別のご  
配慮をお願いいたしたいのであります。

なおこの際とくに強調いたしたいのは貯蓄の増  
強でありまして、この点については各位とともに  
あらゆる努力を傾注して参りたいと存じます。国  
民の消費生活を堅実化し、ひいて輸出の伸長、輸  
入の抑制に資するためにも、また緊要な産業資金  
を確保するためにも、貯蓄増強の重要性はますま  
す高まつているのでありまして、一般の消費動向  
にも根強い増勢がうかがわれる折から、とくに安  
定的な預金の吸収に努力を集中いたさねばなら  
ないと思うのであります。

#### 〔む す び〕

以上申し述べましたように、わが国経済の実情  
はまことに容易ならざる事態に立ち至つているの  
でありまして、われわれ金融に携わる者といまし  
ては、今日ほど強く良識と決断を要請されて  
いるときにはないと痛感いたす次第であります。経  
済が表面なお繁栄の様相を呈しておりますときに、  
苦痛多き引締め政策を遂行することの困難は申す  
までもありませんが、これをあくまで遂行いたす  
ことこそ、金融界として真に社会の要請に答える  
ゆえんであると信ずるのであります。

もとより所期の効果をできるだけすみやかに挙  
げますためには、経済界のみならず広く国民各位  
の十分な理解と協力を得ることが、何よりも大切  
であることは申すまでもありません。

私といたしましては、今回の引締め政策は、国  
際収支の均衡を回復し、わが国経済の真に健全な  
発展を図るため、当面これを実行するの外なしと  
の確信をもつて実施いたして参つたのであり、今  
後もそのためにあらゆる努力を払つて参る覚悟で  
あります。幸い各位のご協力を得まして、その成  
果の1日も早く挙がらんことを祈念する次第であ  
ります。 (昭和32年6月5日)